

本当に美味しいジャガイモ

園長 小島 澄人

ジャガイモの収穫の時期が来ました。いつも楽しみにしています。本当に美味しいジャガイモです。幼稚園に入りたての頃、ジャガイモの種芋を、一個一個子どもに持ち帰らせ、抱っこしてお布団の中で仲良くし、翌朝畑に埋めていました。それぞれが札を作って名前を書き、またクラス名の札を大きく立てて、成長を見守りました。埋める前選定した植木の小枝を焼いてとっていた灰をつけて埋めていました。収穫の時には、種芋のお母さん芋の姿に感動したり、ジャガイモの数を数えたり、ちっちゃいものから大きいものへと並べたり、自分の中で一番素敵なものを一個、カレー弁当に提供していました。そして作ったカレーをみんなで食べるのが「カレー弁当」です。そのやり方は今とは違っていますが、変わらないのは「美味しい」ことです。お世話する男性の先生方に感謝しかありません。私も若い頃はお世話しましたが、毎年のこと、本当に感謝です。

この土、日曜日に里帰りしました。小学生の頃の原風景と、大学生の頃の原風景は全く変わらないものでした。海は美しく、畑は段々畑でした。よく働く村の人たちの手入れされた美しい光景でした。それが大好きでした。畑は、3, 40年経つともう山になっていました。海は誰も泳がないから本当にきれいで、昔のままでした。86になる従兄がいうには「サザエ、アワビはいっぱいだよ」と。村には私より上の方ばかり、寂しかったが、30数年ぶりの里はやはりいいものでした。従兄の車で一日、田舎を満喫いたしました。残念ながら少なくなった家、イノシシ対策に金網で囲まれたことが、私の原風景を変えてしまっていました。

毎年美味しいジャガイモ、畑、土壌、お世話、大変ですよ、本当にありがとう。

今朝、門に立っていると、右の方から、ニコニコした方が歩いてきます。「元気でやっていますね。頑張ってください」と。幼稚園に就職した年の、父母の会の役員でした。「元気で」、その言葉に頑張る気をますます強くしました。先月も、門の前に止まった車から何人もの方が、手をふってくださいました。その次の役員の方々でした。80, 90代の方、皆さん元気そうでした。まだ若くてバリバリの頃、迷惑もかけたかもしれないが、声をかけてくれることに感謝いたします。

門に立っていると、時折、苦情もあります。自転車に乗って歩道を早く走っている方が（保護者ではありません）一人の方とすれ違うことができました。すると、その方は「一体どんな教育をしているんだ、危ないじゃないか、しっかり教育しな。」と、怒鳴りつけられました。車で走っていた方から、「横断歩道をわたっていない」とお叱りを受けました。皆さんに守っていただくことは大変ですが、看板も取り付け、浸透してきました。ありがとうございます。

